日立金属株式会社
経営方針説明

［目次］

1. 2017年度業績予想
2. 経営環境および重点課題
3. アクションプラン
4. まとめ

2017年10月25日

1-1．2017年度業績予想　主要経営数値

（金額単位：億円）（ ）は利益率	2016年度実績 為替レート 1$=108円	2017年度2Q累計実績 為替レート 1$=111円	2017年度予想 想定為替レート 1$=110円
売上収益	9,105	4,824	9,500
調整後営業利益	（7.2%） 660	（6.7%） 322	（8.4%） 800
EBIT	685	291	660
税引前利益	660	280	630
当期純利益＊1	506	196	450
ROE＊2	9.4%	―	8.1%
ROA＊3	4.9%	―	4.3%

●主要製品（工具鋼、産機材、磁性材料等）の需要増加

●電子材料の回復、新製品の立ち上がり

●価格是正の確実な取り組み、価格戦略の強化

＊1　親会社株主に帰属する当期利益
＊2　親会社所有者帰属持分当期利益率（ROE）＝親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 期末親会社所有者帰属持分 ×100
＊3　資産合計当期利益率（ROA）＝親会社の所有者に帰属する当期利益 ÷ 期末資産合計　×100

© Hitachi　Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

1-2. セグメント別売上収益　調整後営業利益

Materials Mag!c

（金額単位：億円）		2016年度実績（為替レート1$=108円）	2017年度2Q累計実績（為替レート1$=111円）	2017年度予想（為替レート1$=110円）
特殊鋼製品	売上収益	2,432	1,410	2,900
	調整後営業利益	235	135	300
	利益率	9.7%	9.6%	10.3%
磁性材料	売上収益	998	521	1,100
	調整後営業利益	93	48	115
	利益率	9.3%	9.2%	10.5%
素形材製品	売上収益	3,335	1,784	3,400
	調整後営業利益	175	62	215
	利益率	5.2%	3.5%	6.3%
電線材料	売上収益	2,329	1,105	2,100
	調整後営業利益	147	69	170
	利益率	6.3%	6.2%	8.1%
その他・調整額	売上収益	11	4	0
	調整後営業利益	10	8	0
合　計	売上収益	9,105	4,824	9,500
	調整後営業利益	660	322	800
	利益率	7.2%	6.7%	8.4%

2017年7月1日付で、連結子会社である株式会社SHカッパープロダクツ他1社の所属するセグメント区分を「電線材料」から「特殊鋼製品」に変更し、
セグメント変更後の数値を記載

© Hitachi　Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

日立金属株式会社
経営方針説明

［目次］

1. 2017年度業績予想

2. 経営環境および重点課題

3. アクションプラン

4. まとめ

2-1. 2018年度中期経営計画　基本方針

勝てる事業体へ「変革」、
そして新しい目標に「挑戦」
～世界トップクラスの高機能材料会社を実現～

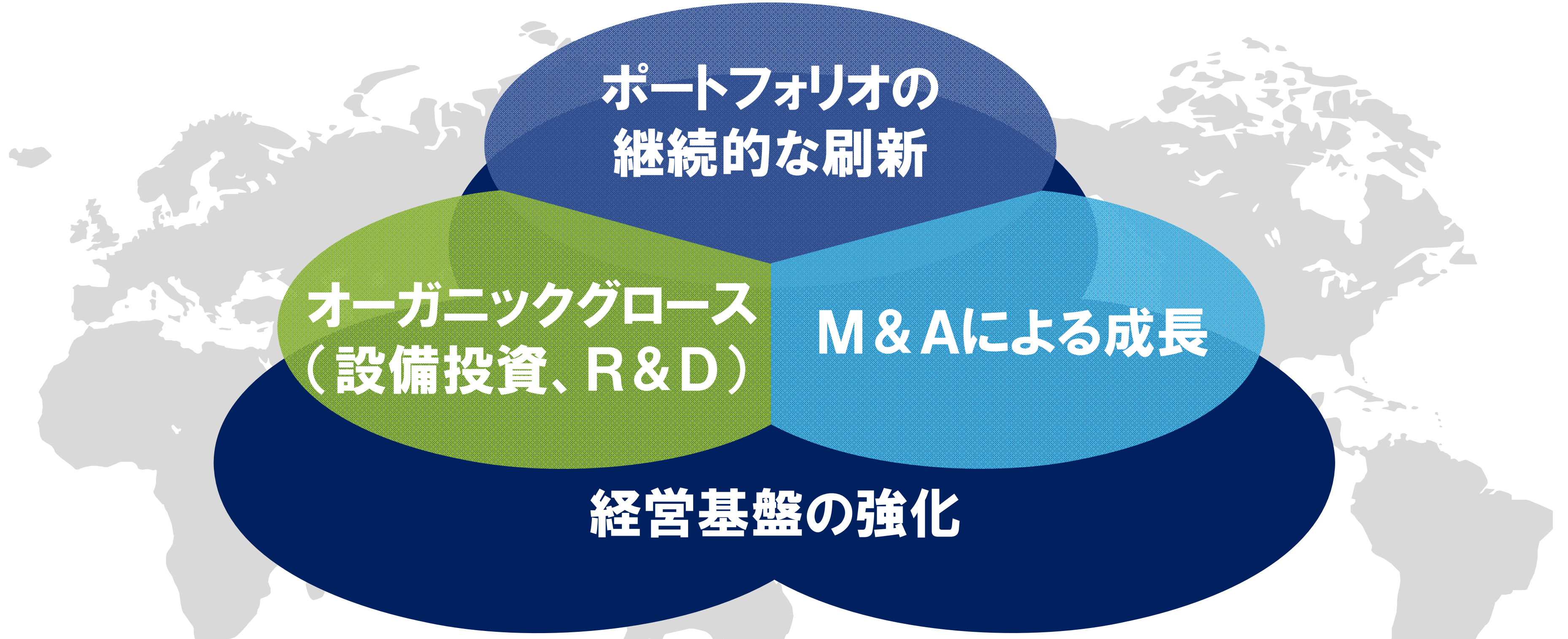
2018年度　中期経営計画　重点施策

1. 成長戦略の立案と実行を加速
2. 筋肉質な事業構造・高効率事業運営
3. 長期的に持続可能な経営基盤の確立

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

2-2. 2018年度中期経営計画　めざす姿

当社のめざす姿	収益率向上を伴うグローバルでの事業拡大



成長戦略と基盤強化の両輪による経営

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

2-3. 2017年度上期取組　概要

Materials Mag!c

グローバル事業領域拡大、事業基盤強化に向けた戦略投資を実行

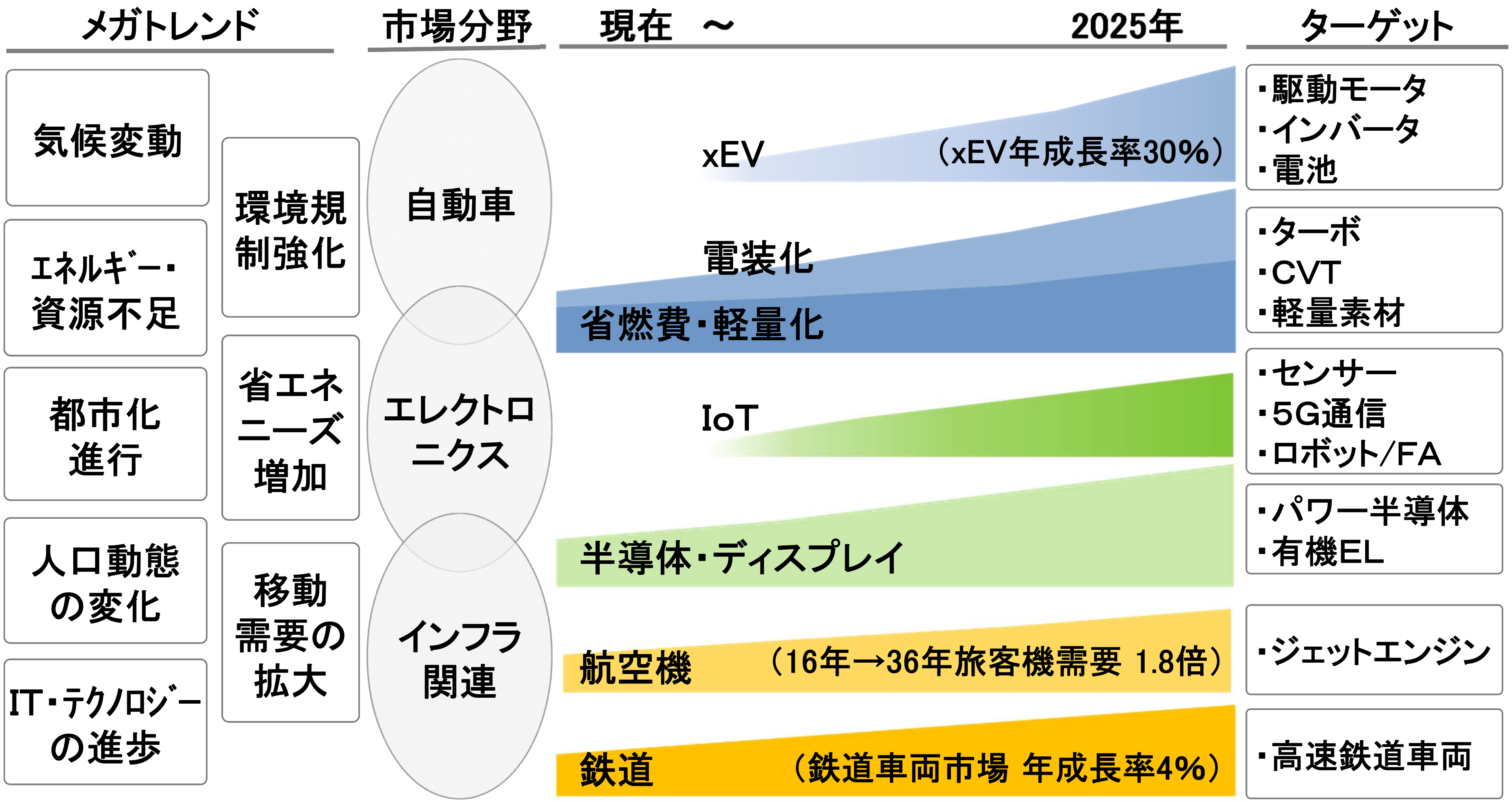
オーガニックグロース（設備投資，R＆D）	•コーポレート研究所“GRIT”開設（投資額約100億円）（2017年4月開設）
	•株式会社日立金属アドバンストマシニング設立（2017年4月）
	•精密鋳造タービンホイールの生産能力増強（投資額30億円超）（2019年度～稼働）
	•日本、中国でピストンリング材の増産体制確立（投資額約25億円）（2017年度下期～稼働）
	•SHカッパープロダクツと日立金属ネオマテリアル統合（2018年4月） •土浦工場でクラッド材の生産能力増強（投資額約75億円）（2018年度下期稼働）
ポートフォリオの継続的な刷新	•配管機器事業の再編（2017年10月）
M＆Aによる成長	•日立金属MMCスーパーアロイの100%子会社化→合併（2018年4月）
経営基盤の強化	•モノづくり改革による棚卸資産回転率、不良率の改善

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

2-4. 当社を取り巻く環境

Materials Mag!c

社会課題を解決し新たな価値を創造する



＊ xEV：電気自動車(EV)、ハイブリッド電気自動車(HEV)、プラグインハイブリッド電気自動車(PHEV)の総称
＊ 市場動向については、各種資料を参考に当社推定

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

2-5. 経営の重点課題

コーポレート主導による3つの改革

モノづくり改革 ⇔ 営業改革 ⇔ R&D改革

×

ヒト、モノへの積極投資（2017年度設備投資900億円）

↓

質の量産 ／ 増産益刈取り ／ 新事業創生

オーガニックグロースによる調整後営業利益1,000億円超達成（2018年度）

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

Materials Mag!c

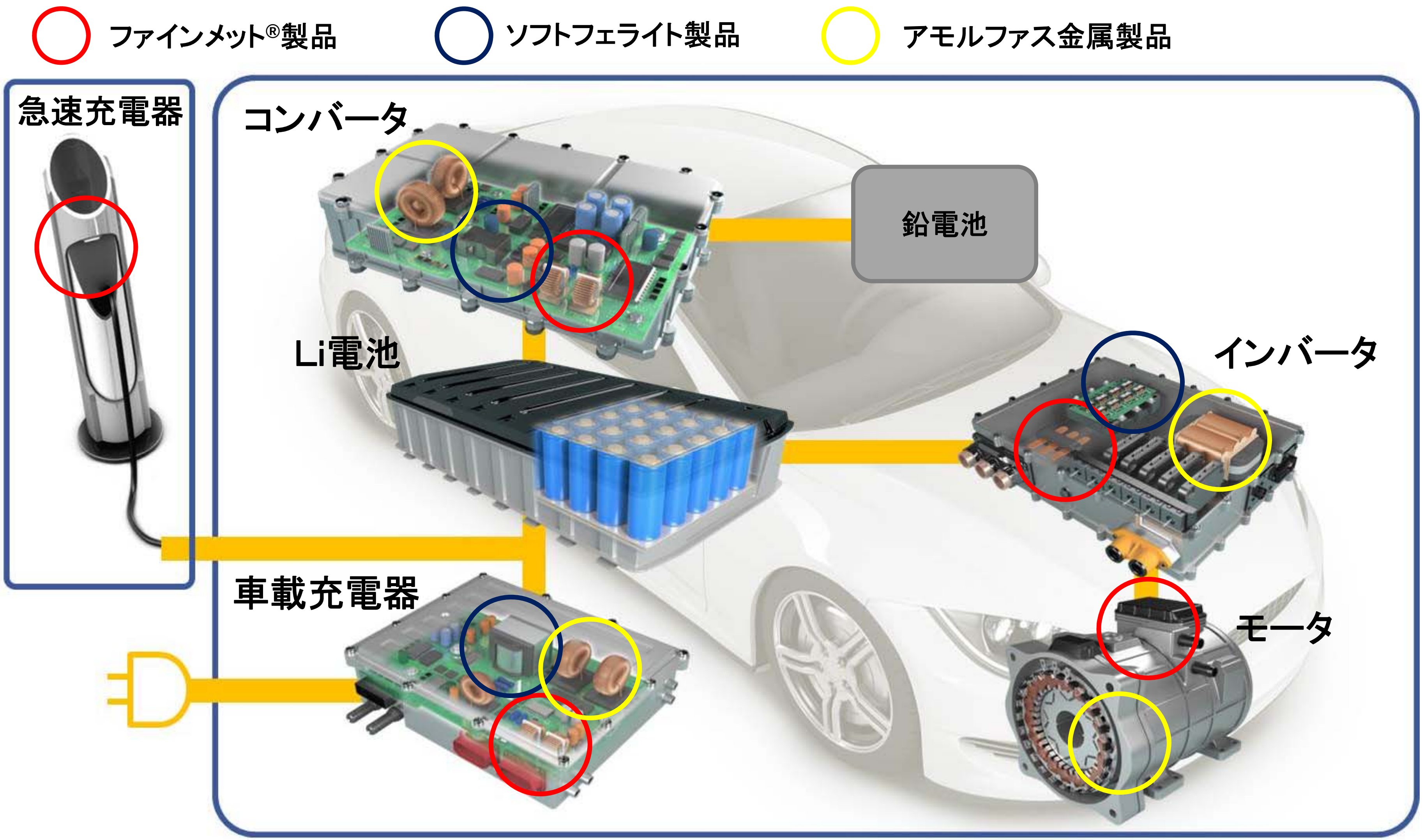
日立金属株式会社
経営方針説明

［目次］

1. 2017年度業績予想
2. 経営環境および重点課題
3. アクションプラン
4. まとめ

Materials Mag!c

xEVに搭載される軟磁性部材



© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

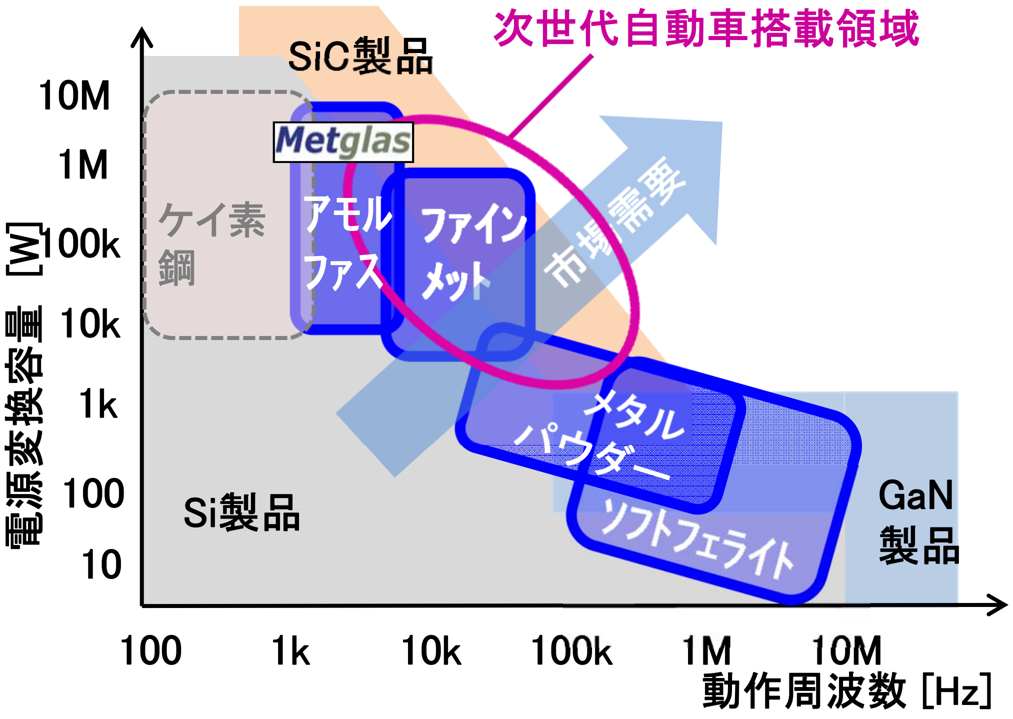
Materials Mag!c

xEV業界のコアサプライヤーへ

高周波・大電流化に対応

- 充実した材料ポートフォリオ
- 次世代パワーデバイスに対応

**車載用電子部品の
小型化・省エネ化に貢献**



生産体制の拡充

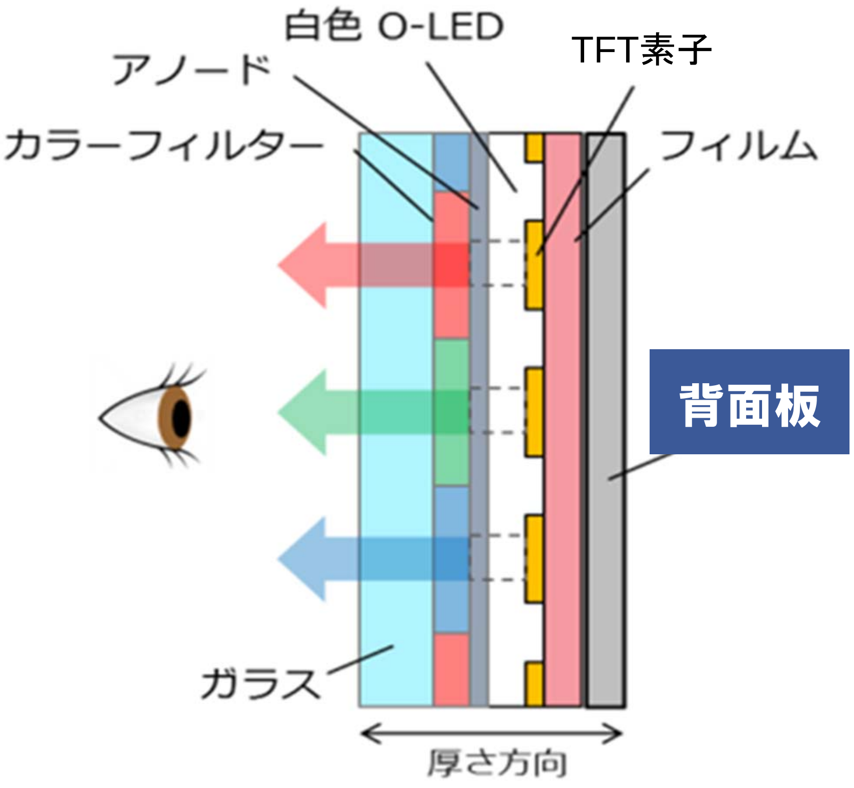
- 研究開発機能を鳥取拠点に集約
（2017年3月）
- 日本、タイ拠点の生産能力増強
（2018年度末完了）

軟磁性部材　2018年度 売上計画　約３割増（2016年度比）

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

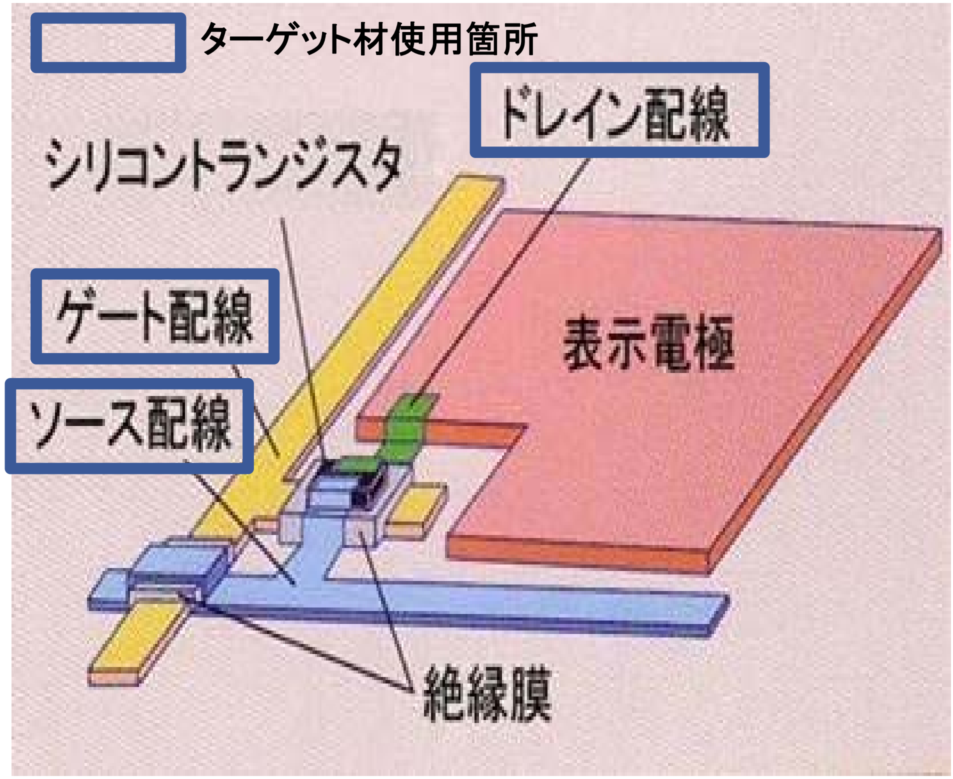
有機EL (OLED) 関連製品の需要立ち上がり

背面板



有機ELテレビ断面図

ターゲット材



TFT素子内部図

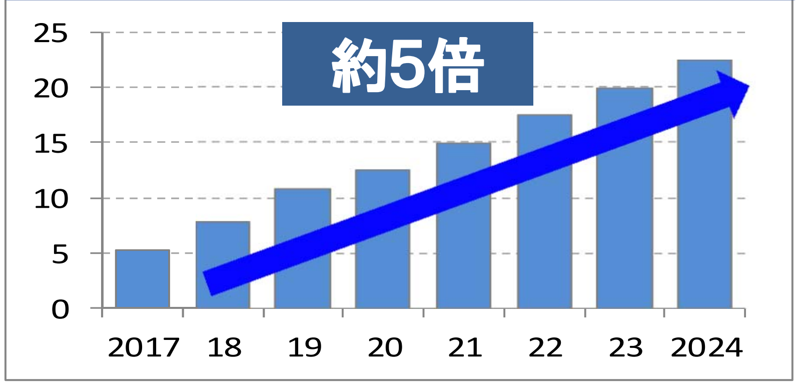
© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

3-4. 特殊鋼カンパニー　電子材料

Materials Mag!c

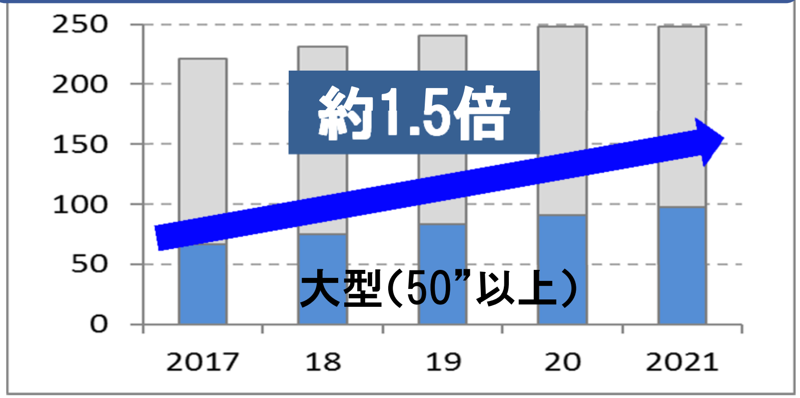
大型投資による市場ニーズ捕捉（電子材料で約200億円）

OLEDパネル生産量(M㎡)※1



需要拡大

OLED TVサイズ別需要(M台)※1



大型化

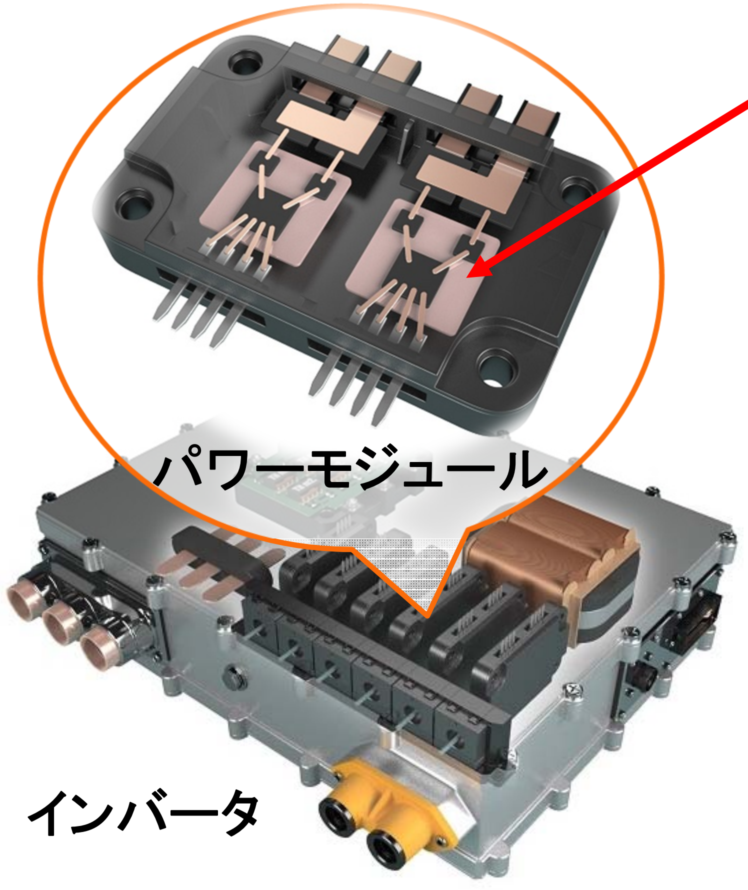
背面板	ターゲット材
量産対応能力	豊富なラインナップ（純Mo/Mo合金/純Cuなど） 開発提案力（新合金、酸化物）
広幅圧延技術	大型材一体成型技術

電子材料関連 2018年度 売上計画 25％増※2（2016年度対比）

※1 市場動向については、各種資料を参考に当社推定
※2 株式会社SHカッパープロダクツの売上を除いた数値

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

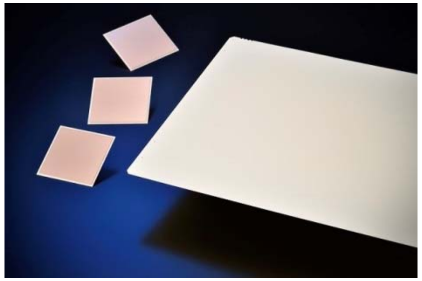
要素技術を生かしたセラミックス製品の拡大



高熱伝導絶縁基板

・高い熱伝導率と機械的強度を両立した窒化ケイ素基板

パワーモジュールの水冷機構の小型化に貢献


窒化ケイ素基板

	開発品	従来品	窒化アルミ
熱伝導率 (W/m・K)	130	90	180
曲げ強度 (MPa)	700	700	350-500

窒化ケイ素基板　2025年度 売上計画　5倍増(2016年度比)

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

配管インフラを支える高シェア製品群

建設設備分野

建設・設備

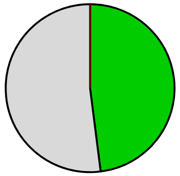
鋳物継手

- 高信頼性
- 鉛フリー

複合継手

- 優れた防食性

国内シェア



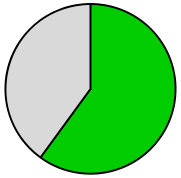
ガス分野

ガス配管システム

フレキシブル配管システム

- 施工性と安全性の両立

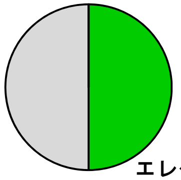
国内シェア



ポリエチレン配管システム

- 優れた耐震性
- 優れた防食性

国内シェア



エレクトロフュージョン継手

産業分野

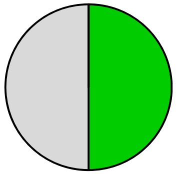
半導体・プラント用・燃料電池

マスフローコントローラ（MFC)

MFC内蔵　液化材料気化ガス供給機（ベーパライザー）

- 高精度・高速流量制御

世界シェア

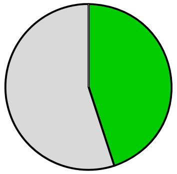


気化式ベーパライザー

バルブ製品

- 低圧力損失でプラントの省エネ、省力

国内シェア



マレブルバルブ

＊ シェアは当社調べ

© Hitachi　Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

3-7. 素形材カンパニー　配管機器

Materials Mag!c

顧客ニーズ
社会ニーズ

- スマートシティー化
- 総合エネルギー事業化
- ＩｏＴ導入
- 施工性向上
- メンテナンスフリー

×

当社の強み

- 品揃え
- 制御技術
- 計量技術
- 保守管理支援、予兆診断

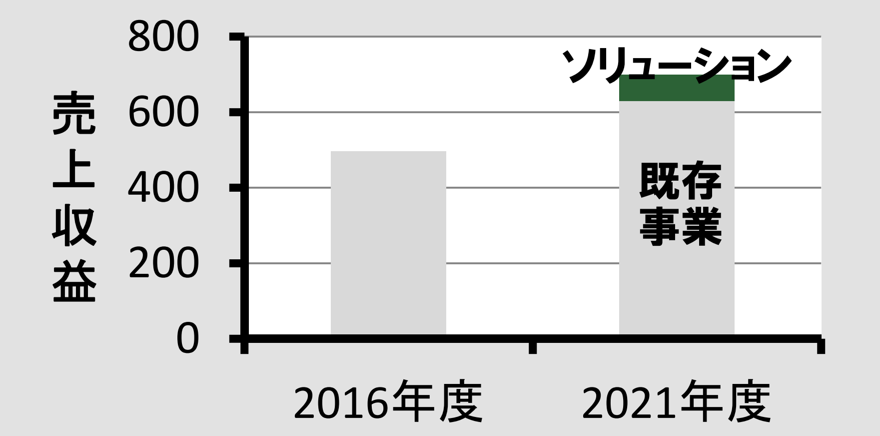
ソリューション強化による事業拡大

・流体の最適制御による安心・安全の確保　・施設全体のメンテナンスコスト低減
・配管システムの劣化防止と状態監視　・人手不足に対応する施工性向上　etc.

■施策

継手・バルブ・MFCの３事業経営体制強化
（2017年10月1日実施）
⇨成長分野へ経営資源を傾注

フレキシブル配管システム生産能力2割増強
鋳物継手高効率生産ラインの構築
（2018年度稼働）



配管機器事業　2021年度　売上計画　４割増（2016年度対比）

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

マグネットワイヤ事業の拡大

■xEV市場に向けた特長ある製品を開発

HiFC®*1

	HiFC®	タフピッチ銅
導電性	◎	○
柔軟性	◎	△
溶接性	◎	△

高性能モータへの貢献
小型軽量化2%*2
生産性向上
信頼性向上*3

■旺盛なxEV需要を見据えた設備投資を実行

<原材料工程> 新型連続鋳造圧延ラインと新プロセスの導入
(2018年4月稼働予定)

<加工工程> 新型生産ライン導入によりモノづくりの高速化
(2018年上期稼働予定)

マグネットワイヤ 2025年度 売上計画 1.5倍 (2016年度対比)

＊1 当社が独自開発した新銅合金 ＊2 銅線重量2%軽量化(当社タフピッチ銅との比較) ＊3 HiFC®は銅中の酸素が少ないため、溶接部分の信頼性が向上

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

3-9.「日立金属らしさ」にこだわる企業文化の醸成

Materials Mag!c

「全員が」「前向きな仕事で」「きっちり成果を出す」

働き方改革	ダイバーシティ

- 「資料半減・会議半減」(総労働時間10%削減)
- 来春新卒採用78名(内18名女性　女性比率前年度比3倍)
- 経営理念浸透(社長タウンホールミーティング、浸透ツール他)
- モノづくり改革、営業改革による人材活性化

フロントライン(工場・営業)の強化と「風通しのよい本社」実現

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

勝てる事業体へ「変革」、そして新しい目標に「挑戦」

～世界トップクラスの高機能材料会社を実現～

2018年度　計画

売　上　収　益:	1兆円
調整後営業利益:	1,000億円（10.0%）

（想定為替レート　1$＝110円）

グローバル成長戦略の実行と経営基盤の強化により持続的成長をめざす

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.

将来の見通しに関するリスク情報

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となる主なものは次のとおりです。

・主要市場(特に日本、米州、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
・急激な技術変化
・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
・製品市場、製品市況の変動
・為替相場の変動
・国際商品市況の変動
・資金調達環境
・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
・製品開発等における他社との提携関係
・日本の株式相場の変動

© Hitachi Metals, Ltd. 2017. All rights reserved.